

平成18年度 事業報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球環境カレッジ

1 事業の成果

平成18年度は、世田谷区駒沢地区や多摩川河川敷を主な活動場所として事業を展開した。

前年度に引き続き、「子ども環境カレッジ」と題し、多摩川河口域の干潟において、カニや魚類、鳥類などの観察会を2回実施した。また、今年は新たな取り組みとして、近隣小学校のワークショップに協力し、生き物観察を通して身近な環境について考える環境教育を行った。

また、世田谷区駒沢地区において一般市民を対象とした定例講演会を5回（うち1回は共催）開催した。さらに、世田谷区内のNPO法人を対象としたNPOフェスタへ参画し、活動のPRを行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
環境学習・教育事業	水辺を活用した自然観察会	8月26日(土) 1月27日(土) (9時~12時)	多摩川河川敷	11人 /1回	小学生、 幼児と保護者 (31人, 22人)	487
	環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等	4月3日(月) 5月15日(月) 9月5日(火) 10月30日(月) 11月13日(月) (17時半~19時)	世田谷区 駒沢	5人 /1回	一般市民 124人 87人 94人 112人 85人	468
環境保全に関する普及啓発事業	ホームページの運営	年間	世田谷区 駒沢	2人	一般市民	86
	弦小夏のワークショップ「学校ビオトープ生き物探検」	7月27日(木)	世田谷区立弦巻小学校 理科室および校庭のため池	4人	世田谷区立弦巻小学校 3~5年生 15人	7
	書籍監修販売補助	10月発行	世田谷区 駒沢	5人		67
	NPOフェスタへの参加	11月18日(土) 19日(日)	世田谷区	5人	一般市民	40
その他目的を達成するために必要な事業	実施せず					

(2) その他の事業

実施せず

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 18 年度開催事業一覧

平成 18 年度 平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

日 時	事 業	備 考
4 月 3 日(月)	●第 69 回(平成 18 年度第 1 回)定例講演会 『環境データと統計学の統合』	永淵 修 先生 (千葉科学大学 教授)
5 月 15 日(月)	※第 4 回理事会、第 3 回通常総会、第 5 回理事会 ●第 70 回(平成 18 年度第 2 回)定例講演会 『第 4 回世界水フォーラムからの報告 ―日本は何を為すべきか―』	尾田 栄章 先生 (NPO 法人日本水フォーラム 事務局長)
6 月 22 日(木)	◇板橋区 環境月間事業 (環境保全賞授賞式にて講演会・講師派遣)	高橋 裕 先生 (東京大学名誉教授)
7 月 27 日(木)	◇弦小夏のワークショップへの協力 「学校ビオトープ生き物探検」	世田谷区率立巻小学校 3～5 年生 15 名参加
8 月 26 日(土)	○子ども環境カレッジ 「親子水辺の生きもの観察会」	多摩川河口干潟 31 名参加(小人 16, 大人 15)
9 月 5 日(火)	●第 71 回(平成 18 年度第 3 回)定例講演会 『魚の自発摂餌 ―魚類養殖と環境毒性評価への応用―』	環境創造研究所(TV 会議接続) 延東先生 (東京海洋大学 教授)
10 月 30 日(月)	●第 72 回(平成 18 年度第 4 回)定例講演会 『多自然型川づくりから多自然川づくりへ―新しい時代の総合的な河川整備―』	島谷 幸宏 先生 (九州大学 教授)
11 月 13 日(月)	●第 73 回(平成 18 年度第 5 回)定例講演会 地球環境カレッジ バイオクリマ研究会 共催講演会 ～天気と健康の豆知識～ ①『気象と健康―健康予報について』 ②『気象とアメニティー衣からのアプローチ』	①村山 貢司 先生 (財)気象業務支援センター振 興部 専任主任技師) ②田村 照子 先生 (文化女子大学大学院 生活環境学研究科 教授)
18 日(土)～19 日(日)	◇NPO フェスタへの参加 環境クイズ, 生きもの観察コーナー (顕微鏡+PC モニター), GEC 活動紹介 (写真+説明掲示, ビラ配り)	
12 月		
1 月 27 日(土)	○子ども環境カレッジ 「冬の水鳥観察会」	多摩川河口域 22 名参加(小人 12, 大人 10)
2 月		
3 月		

○環境学習・教育事業 (水辺を活用した自然観察会)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◇環境保全に関する普及啓発事業